



# はまっこ

平成30年8月6日

岸和田市立浜小学校 校長だより No.5

## 充実 はまっこの夏休み

本当に毎日、暑い今年の夏。今日は、久しぶりに子どもたちの顔を見て、ほっとひと安心しました。

7月26日～27日、5年生は、臨海学校で淡輪の府立青少年海洋センターに行ってきました。連日の暑さで熱中症にならないかということが一番気がかりだったのですが、体調を崩す子どももなく、ヨット体験、海の生き物観察、キャンプファイヤー、きもだめし、いかだ体験と盛りだくさんの体験ができ、学校に戻ってきた時には、どの子にも満足気な表情が見られ、うれしく思いました。クラスの絆も一層、深まったことと思います。保護者の皆様には、準備にはじまり、いろいろな面でご協力いただき、ありがとうございました。



また、7月21日から31日まで、PTAのみなさまには、お仕事もあるなか、毎朝早くから、ラジオ体操の運営をしていただき、本当にお疲れ様でした。子どもたちも、たくさん参加し、最終日には、「やりきった」という表情を見ることができたのが何よりでした。

7月21日には、浜地区青少年指導員協議会の方々が中心となって、第4回夏宮祭が浜小学校グラウンドでおこなわれました。清祓式のあと、6年生は、太鼓作りを指導していただき、ひとりひとり、立派なMy太鼓を完成させました。その模様は、テレビ岸和田でも放映されましたので、ご覧になられた方もいらっしゃるでしょう。盆踊りに、お店もだしてくださって、地域の方々に本当に大切にいただいている「はまっこ」は、本当に幸せな子どもたちです。

そして、「はまっこ」は、勉強も頑張っています。各クラスでおこなわれている夏休み学習会に積極的に参加している子どもたち。「もう夏休みの宿題、全部やったよ。」と誇らしげに報告してくれた子どもたちもいました。

そろそろ、夏休み後半にはいりますが、この調子で、元気に、いろいろなことに挑戦してください！

# 8月6日 思いを新たに



今日は、平和学習をおこないました。73年間、日本人は、戦争をすることなく、平和に暮らすことができました。ですが、年々、戦争を知っている世代が少なくなり、世界に目を向けても、いつ大きな戦争が起きてもおかしくない心配な状況になってきたように思います。

73年前、世界で初めて広島に原爆が落とされたこの日、「平和を守るには、どうすればいいのか」「わたしたちに何ができるのか」を考えてもらうため、全校集会、そして各学級で平和学習をおこないました。以下の文は、わたしが、全校集会でお話した内容です。各ご家庭でも、平和についてお話する機会をもっといただけたら、うれしく思います。

さて、今日は、最初に見てもらいたいものがあります。これは何だか知っていますか。そうですね。オリンピック、五輪のマークですよね。2020年に、東京でオリンピック・パラリンピックが開かれることは、みなさんも知っていますよね。ちょうど2年後の今頃は、オリンピックの真最中です。

この五輪、五つの輪は、何を意味しているか、知っていますか。これは、地球上には5つの大きな大陸があるのですが、その5つの大陸が仲良く手をつないで世界が一つになっている様子を表しているのだそうです。オリンピックは、「平和の祭典（お祭り）」と言われています。爆弾や武器を持って戦うのではなく、スポーツで優れた技を競い合い、世界が平和になることを願って始まったものです。日本でそのような大会が開かれることは、本当にうれしく思います。

その日本で、今から73年前の今日8月6日は何があった日か知っていますか。そうです。広島に原子爆弾が落とされて、14万人もの人が亡くなった日です。14万人と言われてもなかなかぴんときませんが、浜小学校の子どもの方の約700倍というと、少しイメージがわくでしょうか。たった1つの爆弾でそれだけのたくさんの人たちが亡くなりました。そして、今や、世界で、そんな恐ろしい原子爆弾が約1万5000発あるといわれています。もし、どこかの国が原子爆弾を使ったとしたら、それに対する仕返しに、また原爆が落とされ、ということになり、しまいには世界は破滅してしまうでしょう。そんな危険な時代にわたしたちは生きています。みなさんは、戦争の経験がありません。先生もありません。ですから、ついつい、平和というのは、ふつうにあるものだと思ってしまいがちです。でも、そんなことはないのです。ひとつ間違えば、人類が破滅してしまうことだってあるのです。だからこそ、ひとたび戦争が起こればどんな大変なことになるのか、そうならないようにどうやって平和を守るのか、わたしたちは、しっかり勉強をしなければなりません。

今日もとても暑いですが、73年前、原爆が落とされた時、地面の温度が3000度以上になったといわれています。どんなに熱かったか、簡単には想像できませんが、二度とこのようなことが世界で起こらないよう、この五輪のマークのように、全世界が手を取り合って仲良く平和に暮らせるよう、このあとしっかり学習して、ひとりひとりが平和を守ることを決意する日にしてほしいと願っています。

